



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

ようこそ先輩 「松田の八月あしび」

6月1日(木)2校時に松田区芸能保存会副会長 島袋光樹氏をお招きし、「ようこそ先輩」の講話をとして「松田の八月あしび」について、お話していただきました。

松田の八月あしびは、2年に一度開催される豊年際であり、演目が芸能や棒術、獅子舞、組踊などで構成されており、沖縄の八月あしびの典型とされています。100年余の歴史をもつ重要な祭りです。

松田区では、22演目を青年会の皆さんが演じ、特長のある7演目(舞方、長者の大主、しし舞、谷茶前、龍落し、双葉、道ずね)があるそうです。

青年会の皆さんは、演目を演じるだけでなく、バンクの飾り付けも行うそうです。バンクの裏には、たくさんの道具があり、そこには、メイク担当衣装担当等、たくさんの裏方の方がいらっしゃるそうです。

多くの方々を支えられて、「松田の八月あしび」が行われているのです。

松田小学校も「こちゃまつり(学習発表会)」に向けて、で地域の方々か伝統芸能を教えてもらうこととなります。この話を聞いて、感じたことを忘れずに、演じてください。

島袋さんは、あと、10年後に皆さんが青年会に入会してくれることを楽しみにしているそうです。



写真1 講話の様子①



写真2 講話の様子②



写真3 講師と6年生

児童のおれいに言葉より

○今日は、お話会で知らなかった「八月あしび」のことを多く知ることができてよかったです。青年会の方ががんばって長い歴史と伝統をつなげていることがわかり、すごいと思いました。大きくなったら、私も青年会に参加したいです。(6年女子)

○今日はこのような講話をしていただき、ありがとうございます。お話を聞いて、松田区にはいろいろな歴史と文化があり、青年会の方々をはじめ、多くの人が協力して「八月あしび」が行われていることを知りました。ほくもこのことをしっかりと胸に「本部大主」をみんなまで演じたいと思います。(6年男子)

平和学習会

去る6月9日(金)3校時に宜野座村立博物館の田里一寿氏を講師にお迎えして、「沖縄戦と宜野座村」と題して、平和学習会を行いました。

初めに紙芝居「戦争難民であふれた村Ⅱ」、続いて、「沖縄戦後の宜野座村」について、写真や資料聞き取り調査から、戦後の避難民であふれていた宜野座村の様子と野戦病院や避難民の様子などをお話してくれました。講師の田里さんは、「戦争とはとても過酷で、人の事よりも自分のことで精一杯の状況です。その中でもっと生きたいと思って死んだ方の後悔だけではなく、生きのこった人も、あの時に(戦争の時)自分にできることがあったのではないかと思う後悔があります。どちらも辛い思いをしています。そんな戦争が起きないために、皆さんがこれからどう生きていったらいいのかを考えてほしいです。」と結びました。

6月23日は慰霊の日。ぜひ、ご家族で慰霊の日のある意味について、お話してください。



写真4 平和講演会の様子

慰霊の日に向けて平和学習資料展 6月5日～22日

6月23日は太平洋戦争において最も激戦地であった沖縄戦が終結した日です。

沖縄県が、この戦争において多くの貴重な生命、財産及び文化的遺産を失った冷厳な歴史的事実にかんがみ、これを厳粛に受け止め、戦争による惨禍が再び起こることのないよう、人類普遍の願いである恒久の平和を希求するとともに戦没者の霊を慰めるため、条例でこの日を「慰霊の日」と定め、その意義を広く認識するよう努めています。

慰霊の日に向けて、沖縄や世界で起こった戦争について子どもたちにも考えてもらうように、本校では多目的ホールで平和学習資料展を行っています。



写真5 資料展示①



写真6 資料展示②

写